

成東駅前広場 空間デザインコンペ審査会を行いました

平成25年10月27日(日)に、平成25年度 第4回まちづくり協議会を開催し、15名の会員に出席いただきました。

当日は、成東駅南口駅前広場の整備の際に配置するベンチや街灯など(ストリートファニチャーといいます。)のデザインや空間演出の提案募集に応募した2組を招き、提案説明を受けた後に会員による審査を行いました。



コンペとは・・・

外部の複数の人々に計画や設計を提案してもらい、優れたものを選び競技会のことです。

もともとは、英語の「コンペティション」の略で「競争、競技会」を意味します。

コンペ実施要綱(抜粋)

テーマ： 「ほっと」する、舞台装置としてのストリート・ファニチャー

■参加要領：

1. 応募資格：大学生及び大学院生
2. 応募方法：メールによる応募登録
3. 応募登録締切：2013年9月30日

■提出物：

1. 設計図(縮尺自由)およびスケッチ
2. 模型
(縮尺 1/10 程度)
3. 敷地図(周辺を含む)
(デザインしたストリート・ファニチャーをレイアウトした図面)
4. 全体のイメージパース
5. 説明文

■現地説明会：

1. 開催日：平成25年8月5日 13時
2. 場所：山武市役所

■審査員：

成東駅南側周辺まちづくり協議会

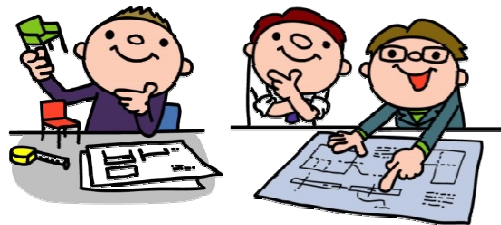
■テクニカルアドバイザー：

植田 憲
(千葉大学工学部デザイン科学教授)
佐藤 公信
(千葉大学工学部デザイン科学教授)

■トータルコーディネーター：

中谷 正人
(千葉大学工学部
都市環境システム学科客員教授)

■主催：成東駅南側周辺まちづくり協議会
後援：山武市都市建設部都市整備課



※提案されたデザインは、実現に向けてテクニカルアドバイザー等のご協力をいただきながら、継続検討していくこととしています。



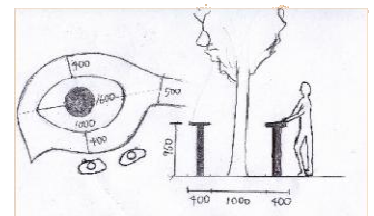
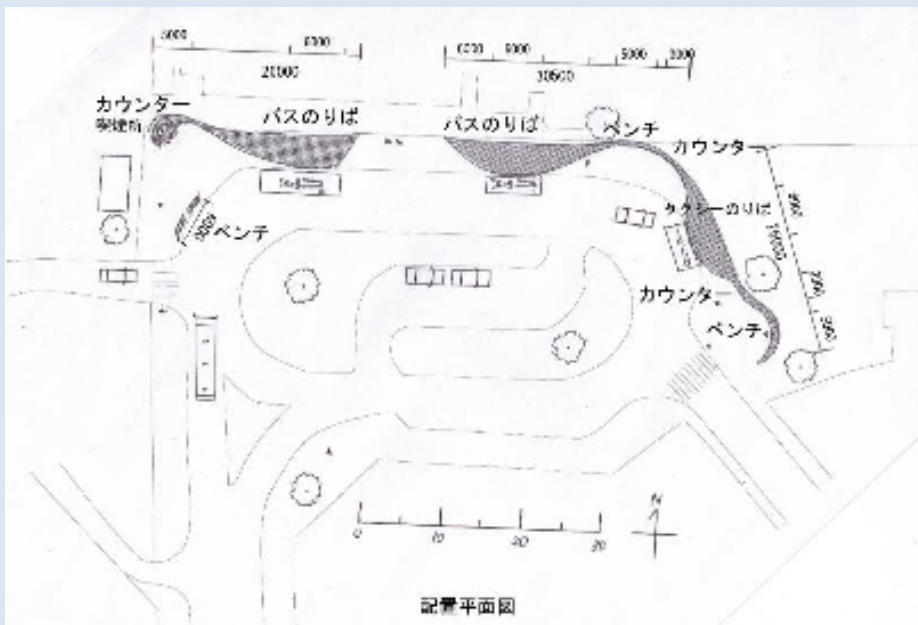
提案者1. 高橋咲さん(千葉大学工学部都市環境システム学科3年)

「さんむ」という家の玄関兼リビングとなる、成東駅前広場のためのストリートファニチャー

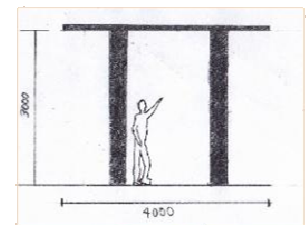
山武、成東駅に着いた時に感じる、どこか懐かしい安心感・雰囲気をもそのまま街に流し、そのほっとする空気と、山武杉のあたたかみによってできる落ち着ける空間を広場として提案します。

夕暮れどきがとても綺麗な作田川の形をモチーフにし、「流す」形を表現しました。

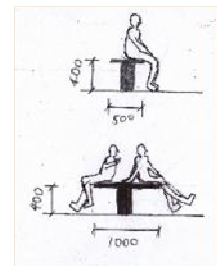
はじめて訪れる人も、帰ってくる人も、駅から次の行き先までのいっぴくができ、それがまちの風景の一つとなることを期待して提案しました。



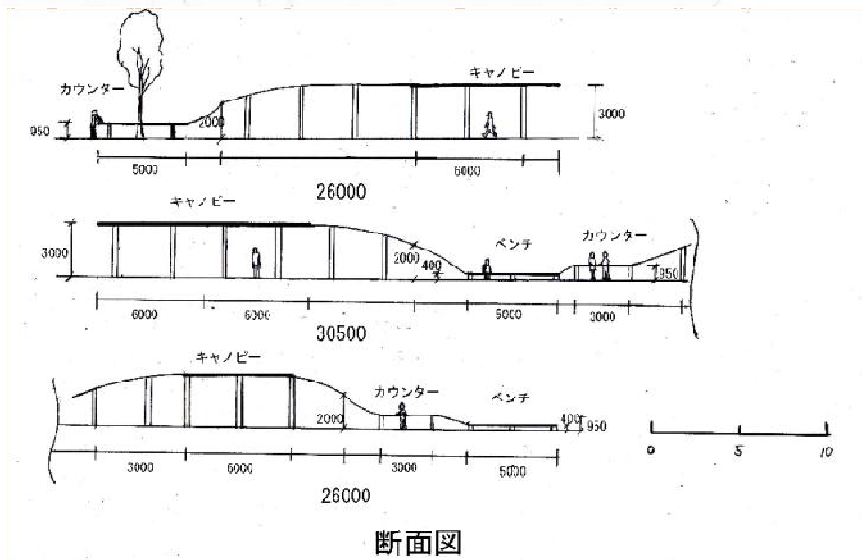
カウンター



キャノピー



ペンチ



提案で使用了資料は、山武市都市整備課のホームページに掲載しています。
<http://www.city.sammu.lg.jp/soshiki/17/minami-top12.html>

提案者2. 張 曉静さん、金 主榮さん、張 夏さん、路 鵬さん
(千葉大学大学院 工学研究科 デザイン科学専攻 デザイン文化計画研究室 修士1年)

「海と田んぼと山の駅」



デザインのコンセプト

駅を訪ねる人々に「ホット」した印象を与えるため、以下のことを考えました。

- ・自然に近い材料を利用する
- ・地域のもの、地域の資源を利用する

さらに地域活性化のため、以下のことを考えました。

- ・地域の良さが分かりやすい空間をデザインする
- ・地域の住民が交流し、地域の様々な活動に参加できるような空間をデザインする



デザイン提案

1. 駅前空間

- ・駅の床のタイルブロック
- ・組子のアート
- ・バス停のフレットフォーム
- ・バス停のベンチ
- ・フェンス
- ・植樹
- ・照明

2. 駅前の街並み

- ・空き店舗を利用した「展示場」
- ・空きスペースを活用した「青空市場」
- ・自動車利用者向けの誘導看板
- ・ホームページを作成する など

空き店舗活用のイメージ



「展示された空き店舗を展示場として利用する」

青空市場のイメージ



看板のイメージ



「海と田んぼと山の駅：成東」構成イメージ



2組の提案を受けて、意見交換を行いました

提案者のプレゼンテーションが終わった後に、意見交換を行いました。

高橋さんの提案は、とてもユニークなデザインですが、シンプルで主張しすぎない空間演出に良い印象を持ったという意見が多く寄せられました。

張さんたちの提案は、歴史などを詳しく調べて駅前のデザインに盛り込んだほか、駅前の賑わいや海を意識した植樹など、幅広い提案に良い印象を持ったという意見が多く寄せられました。

また、どちらの提案もとても良く、甲乙つけがたい、2つの提案を融合したいという意見が非常に多く寄せられていました。



当日参加した会員全員で投票を行いました

協議が終わった後、中谷コミュニケーション・ディレクター、齋藤バイス・コミュニケーション・ディレクターを除く会員全員が、それぞれ投票を行い、最優秀賞、優秀賞を選定しました。

審査のポイント

成東駅南側周辺地区で目指すまちづくりの理念（テーマ）に適合しているもの。

①造形的に美しく、周辺の街並みと調和して空間全体の魅力を高めるもの。

②デザイン性に優れているもの。

③独創性のあるもの。

※1 今回のコンペは、成東駅前広場にふさわしいと思われるデザインを審査していただくことを目的としているため、実現性は審査の対象としませんでした。

※2 実現に向けて、パブリック・コメント等のご協力をいただきながら、検討していくこととしました。



投票の様子

最優秀賞

張 暁静さん
金 主榮さん
張 夏さん
路 鵬さん
(千葉大学大学院
工学研究科 デザイン科学専攻
デザイン文化計画研究室
修士1年)

優秀賞

高橋咲さん
(千葉大学工学部都市環境システム学科
3年)

表彰式の様子



表彰式を終えて

功ニカドバ イザ - 植田憲教授（千葉大学工学部デザイン科学）のコメント

今回のコンペで一番よかったと思うのは、私を含め、学生たちが皆様のところにお邪魔をさせていただいて、生活とは何なのか、その中でどういう造詣がこれまで生み出されたのかなど、様々なことを学ばせていただいた点だと思います。

これからも、地域の方々が元気に楽しく豊かな暮らしができ、かつそういう資源を媒介として外の人と連携できていくような取り組みと一緒にやらせていただければと思っています。



椎名市長のコメント

今日は高橋さん、それから張さんをはじめ4人の方々、準備に相当の時間がかかったと思いますが、ご参加いただいて本当にありがとうございました。

今回の発表の中で感じたことは、まちは1回作ればそれで終わりということではなく、生きているものだということです。

常に手を加え、私たちそこに住む人間と一緒にあってまちも成長し、もう一度息を吹き返して素晴らしい街並みになっていくのだと思います。

これからも頑張ってお皆さんとともに行政としてもまちづくりに励んでいきたいと思っていますので、引き続きお力添えをお願い申し上げて御礼といたしたいと思っています。ありがとうございました。



景観配慮事項の確認について

コンペの審査会と併せて、第3回協議会で審議した、「街並み景観形成の配慮事項（案）」の修正案の確認と意見交換を実施しました。

記載内容の一部に表現の変更を行った方がよいとの意見があったことから、次回協議会の際に再度確認を行うことになりました。



提案者を囲んでの記念撮影

皆様のご意見をお寄せください

成東駅南側のまちづくりについて、皆様のご意見を事務局へお寄せください。

なお、いただいたご意見は、協議会で報告するほか、この協議会ニュースでご紹介させていただく場合がありますので、ご了承ください。

【ご意見送付先】

山武市都市整備課

成東駅南側周辺まちづくり協議会事務局

〒289-1392 山武市殿台296

ファクス：0475-82-2107

電子メール：toshiseibi@city.sammu.lg.jp

※ファクス、電子メールは共用ですので、宛先をご記入ください。

